

発電所だより 2021年6月号

2021年6月発行 東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <https://www.tohoku-epco.co.jp/>



《女川原子力発電所の安全対策について紹介します》

女川原子力発電所では、2号機の安全対策工事を鋭意進めており、2022年度の工事完了を目指しています。シリーズでお伝えしている当発電所の安全対策について、今回は「さまざまな事態を想定した訓練」をご紹介します。

シリーズ⑥ 訓練の充実・強化

さまざまな事態を想定した訓練を繰り返し実施

当発電所では、東京電力福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、震災前に実施した安全対策に加えて、設備・運用両面からさらなる安全性の向上に取り組んでいます。

本シリーズでは、これまで5回にわたり設備面での安全対策をご紹介してきましたが、今回は、運用面での取り組みをご紹介します。

万一、重大事故が発生した場合、設備を操作する発電所員が、いかに「冷静」、「的確」、「迅速」に対応できるかがとても重要となります。

このため、当発電所では、「すべての電源を喪失」、「燃料を冷却する設備の機能を喪失」、「がれきや倒木による道路の寸断」など、平常時からさまざまな事態を想定した訓練を繰り返し実施し、非常時における現場対応力を強化しています。

私は、原子力発電所の緊急時対応訓練の計画や実施を担当しています。

発電所員の現場対応力を高めるため、他の発電所への視察などにより得た知見を各種訓練、教育に取り入れ、内容を充実させるよう取り組んでいます。

今後も女川2号機の再稼働に向けて、現場対応力の強化を図りながら当発電所のさらなる安全性向上に努めてまいります。



技術統括部 防災グループ
皆川 太郎(仙台市出身)

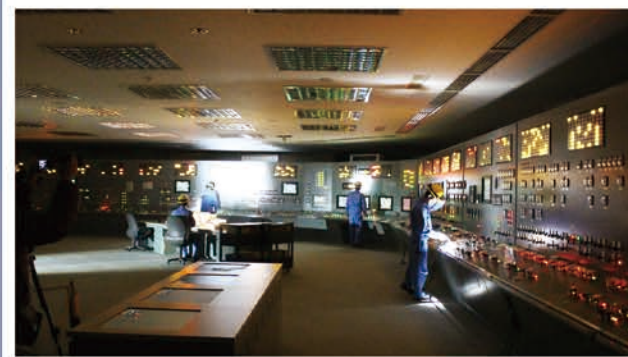
実施している訓練の一例



電源車の接続訓練



大容量送水ポンプ車による冷却機能確保訓練



シミュレータによる運転操作訓練



ブルドーザーによるがれき撤去訓練



訓練の様子を当社公式YouTubeチャンネルで公開しています

2020年10月に実施した当発電所の防災訓練について、対策本部の状況を中心にまとめた動画(約14分間)を公開しています。



QRコードを読み込むと動画をご覧いただけます

《東北電力図画コンクール歴代の最優秀作品23点を展示します》 ～おかげさまで20回目の節目を迎えます～

「想像の海の生きものたち」をテーマに、小学生以下の皆さんを対象とした「東北電力図画コンクール」は、2002年の開催以来、累計76,514点ものご応募をいただいています。

20回目の節目を迎える今回、歴代の最優秀作品23点※などを、7/2から8/31までの期間、女川原子力PRセンターに展示しますので、皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひ、ご来館ください。

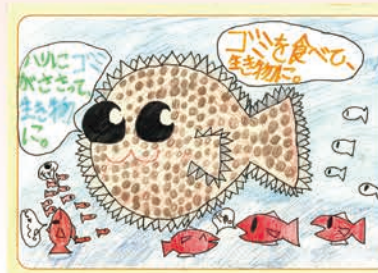
なお、第20回の応募要項につきましては、発電所だより2021年7月号でお知らせする予定です。

※第1回のみ最優秀作品を5点選出したことから、開催19回で最優秀作品を23点選出しています。

第1回(2002年)の
最優秀作品5点を紹介します
(タイトル:氏名(受賞当時の学年))



ぴかぴかくじらくん:吉川 勇斗さん(幼稚園) 魚レスキュー隊:阿部 巧周さん(小2)



リサイクル魚の「チーズ」:遠藤 絢さん(小4)



和魚:鈴木 健人さん(小4)



ゴミ食べ魚(フィッシュ):阿部 美奈さん(小6)

《約110種類3万5,000輪のバラが見頃に!》

女川原子力PRセンターでは、現在、「ローズガーデンフェスタ2021」を開催しています。

ご来場いただいたお客さまへは、バラを背景に撮影した記念写真をプレゼントしますので、皆さまお誘いあわせのうえ、ぜひ、お越しください。

開催期間
6月30日(水)まで
<6月21日(月)は休館日>



QRコードを読み込むと
色鮮やかに咲くバラを
動画でもご覧いただけます



記念写真のイメージ

おねがい

新型コロナウイルス感染防止の観点から、ご来館いただく際には、女川原子力PRセンターへお電話での事前申込をお願いいたします。

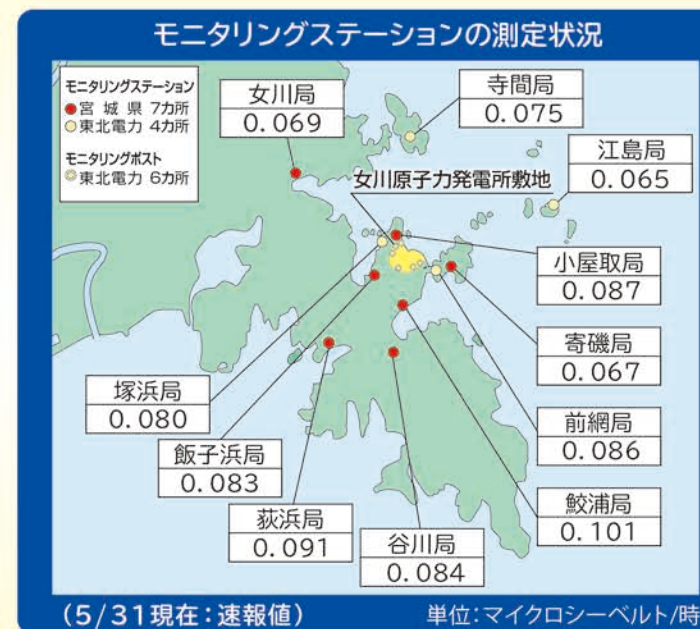
お問い合わせ先

女川原子力PRセンター (〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123)
開館時間 9:30~16:30 《休館日:毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始》
電話番号 0225-53-3410

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの2021年5月31日の測定値は、最大で0.046マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの
最小値と最大値※3

《東北地方太平洋沖地震発生日》	
2011年3月11日	0.027~0.064
《地震発生後最大値》	
2011年3月13日	1.8~21※4
《地震発生から2年と 至近2年の(4/1)値および前月値》	
2012年4月1日	0.063~0.098
2013年4月1日	0.055~0.076
2020年4月1日	0.034~0.055
2021年4月1日	0.034~0.047
2021年5月1日	0.034~0.055
2021年5月31日	0.034~0.046

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。

※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。

※3 モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02~0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。

※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。